

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク

**見守り 支え合い**

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

**介護ワンポイントアドバイス**  
地域包括支援センターTel.86-0112

**認知症の家族と 笑顔で暮らす**  
⑩町認知症高齢者見守りネットワーク協議会の活動

町では、認知症のかたとその家族を暖かく見守り支えあうことのできる地域をつくるために、平成19年に「白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク協議会」（以下、協議会）を設立し、認知症の正しい知識・症状への対応を伝えて認知症に対する理解を広げるための活動を行っています。

○協議会の主な活動

□認知症講座・認知症研修会での寸劇

認知症の正しい知識や認知症特有の行動への対応についてよりわかりやすく伝えるために寸劇を行っています。今年度は、荒砥高校で「もの忘れ」荒砥高校で「もの忘れ」忘れる」「道がわからなくなることへの対応を演じました。



□「見守り・支え合い」ステッカーの掲示

地域の商店や医療機関などに「見守り・支え合いステッカー」を掲示していただき、認知症高齢者の見守り、認知症高齢者やその家族への暖かい声かけをお願いします。

□認知症に関する情報を地域に広げる

地域の集まりや会議など、人の集まるところで認知症の正しい知識を広げます。また、認知症のことをわかりやすく伝えるため、紙芝居「ドタキャンばあちゃん」医者さ行く」を活用しています。現在は2作目の紙芝居を製作するための話し合いを行っています。

□認知症高齢者とその家族を支える活動

「認知症の人と家族の会」の活動で、認知症のかた本人やその家族がそれぞれ悩みや相談をしあえる場を提供し、介護のアドバイスや相談機関の紹介、仲間づくりの支援を行っています。

『認知症の人と家族の会』

▼いつ 2月22日（水）

午後1時30分

▼どこで 健康福祉センター

※要予約

■相談窓口・問い合わせ

町地域包括支援センター

（☎86-0112）

町報川柳 「掌」 安部 美笑 選

佳作	不器用な手でも掌のひら夢がある	畔藤	梅津いと
〃	宝くじ当たるようにと掌を合わす	藤野市	村上桂造
〃	節くれ掌もみ手でかくす癖となり	荒砥甲	横山陽子
〃	掌のひらの温もり注ぐ妻の酌	鮎貝	植木英夫
〃	嫁姑今でも変わらぬたなごころ	山口	石川与次衛門
〃	被災地に届け掌中幸の玉	荒砥甲	鈴木美貴子
〃	掌のひらを返すごとくに断られ	藤沢市	大西順三
〃	初参り幼子両手で合掌し	山口	児玉保子
〃	掌のひらに蛍の光り孫の目に	世田谷	糸マサ
〃	お皿など要らぬ掌のひらつまみ食い	山口	渡部喜美子
〃	掌のひらの皺の多さをじっと見る	高玉	高橋朝子
〃	掌中に収められたり収めたり	十王	川部隆雄
秀逸	柏手が栄華を結ぶ平泉	貝生	保科 努
〃	たなごころ返したような選挙戦	十王	鈴木しげ
〃	合掌村雪すっぽりと春を待つ	荒砥甲	五十公野かをる
〃	汽車の窓掌のひら結ぶドラが鳴る	高岡	長岡みち子
〃	掌のひらは数えきれない技を持つ	荒砥乙	大滝栄子
〃	たなごころ笑顔に戻ればそれでいい	佐野原	五十嵐とし
〃	掌を合わせ家族の幸を祈る日々	荒砥甲	井澤芙佐子
〃	逆縁は悲しきものよ掌を合わす	世田谷	遠藤八重
〃	たなごころ大きく開けて深呼吸	横田尻	金田れん
〃	掌のひらのタツチで絆深くする	畔藤	菅原敦子
五客	掌のひらを重ねてわかる人ごころ	高玉	金田コト
〃	車掌さん笑顔で方言ガイドする	鮎貝	横沢直太
〃	掌中の玉いつか必ず独り立ち	浅立	梅津美千子
〃	やさしさをそっと包んだたなごころ	世田谷	保高悦子
〃	掌のひらに感謝を包み明日がある	佐野原	五十嵐あきよ
人位	車掌さんなまり言葉がうれしいね	荒砥乙	土谷灯一
地位	掌のひらの温もり恋し遠い過去	浅立	高橋とみ
天位	掌のひらに人という字を書いてみる	山口	虎匂田
軸	祈る掌に鬼も仏も共に棲み	一杯	

次回「嘘」二月二十五日まで。「絆」三月二十五日まで。  
はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八―二 高橋 白兔 宛